



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	英語冠詞の指導における唯一性概念に関して
Author(s)	大竹, 政美
Citation	教授学の探究, 27, 39-40
Issue Date	2010-03-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/42791
Type	departmental bulletin paper
File Information	kyouju27_003.pdf



英語冠詞の指導における唯一性概念に関して

大 竹 政 美

(北海道大学大学院教育学研究院)

本稿では、英語冠詞の指導における唯一性概念の問題を、定冠詞 *the* と不定冠詞 *a* が対立する、単数の可算名詞 (count nouns) を主要部とする名詞句に限定して考察していく。

1. 同定可能性

定冠詞 *the* は、同定可能性 (identifiability) の概念を表現する (Huddleston et al. 2002: 368-369)。

(1) Bring me *the ladder*!

話し手は、聞き手が指示対象 (referent) をどれと同定できると予期している。定の可算単数名詞の場合には、同定可能性は普通は、記述 ((1)では *ladder*) を満たす唯一の (unique) 関係ある存在物があるという認識による。

それに対して、不定の名詞句に関しては、聞き手は指示対象をどれと同定できると予期されてはいない (Huddleston et al. 2002: 371)。

(2) Bring me *a ladder*!

2. 唯一性の解釈を持つ不定名詞句

次の例文では、不定名詞句が唯一的に指示しているようである (Hawkins 1991: 420-421)。

- (3) i England has *a prime minister*, and America has *a president*.
- ii This larger situation set contains *a professor*, *a classroom*, *a textbook*, etc.
- iii My car comprises *a steering wheel*, *a hood*, *a clutch*, etc.
- iv There is *a pizza* in the fridge, and *a cake* in the pantry.

動詞 *have*, *be* などは、記述された存在物の、関係ある何らかの集合の内部での要素性を定義するのに役立っている。(3i)は、イングランドとアメリカの内部で、ある種の公職を定義している。(3ii)は、より大きな状況の集合の要素を列挙している。(3iii)は、車のある種の部品を定義している。(3iv)は、談話の中に新しい存在物を導入している。

ここで、不定冠詞を定冠詞に置き換えることもできるが、解釈はかなり異なる (Hawkins 1991: 421-422)。

- (4) i England has *the prime minister*, and America has *the president*.
ii This larger situation set contains *the professor*, *the classroom*, *the textbook*, etc.
iii My car comprises *the steering wheel*, *the hood*, *the clutch*, etc.
iv There is *the pizza* in the fridge, and *the cake* in the pantry.

最も自然な解釈は、定の存在物が、(3)における対応する不定の名詞句について定義されている集合の要素ではない ((4i)ではどこか他の国の首相等であり、(4ii)では話し手と聞き手が話題にしていた教授等であり、(4iii)では「私たちの目の前のハンドルとボンネット」等であり、(4iv)では直接に先行する談話と直接の発話状況から独立に唯一の指示を持つことができる存在物である) というものである。

こういう状況のもとでは、a は the に代わって、唯一性を含意するのである。

3. 冠詞の指導への示唆

上の(3)の例文はいずれも、定名詞句で表現される存在物 ((3i)では *the prime minister of England* 等) を談話の中に導入するものである。このような、何らかの集合を定義する述語 (例. *have*) を含む文を例文として不定冠詞を導入すると、学習者は不定冠詞と唯一性概念を固着させてしまっ、冠詞体系の正確な認識に至らないおそれがある。

2. で見たような冠詞のふるまいは、一般的な文構造の中で定冠詞と不定冠詞の対立を取り扱った後に、特殊なものとして教えることが重要である。

参考文献

- Hawkins, John A. (1991). On (in)definite articles: implicatures and (un)grammaticality prediction. *Journal of Linguistics* 27. 405-442.
Huddleston, Rodney & Geoffrey K. Pullum (2002). *The Cambridge grammar of the English language*. Cambridge: Cambridge University Press.